

令和2年度（2020年度）北海道原子力防災総合訓練の実施結果について

1. 訓練日時

令和2年（2020年）10月31日（土）8：45～16：00

2. 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び13町村）

3. 参加機関

避難先など23市町村、内閣府、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安部、北海道開発局、札幌管区気象台、北海道警察、消防機関、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会ほか（約340機関）

4. 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下において、後志地方西部を震源とする最大震度6強の地震が発生。地震後、何らかの原因により、北海道電力株式会社泊発電所3号機において、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

5. 訓練結果（主なもの）※数値はいずれも速報値

(1) 意思決定訓練

項目	主な実施内容
■ オフサイトセンター運営訓練	○ 要員の緊急参集、防護措置の検討・調整（22機関、151人）
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道、町村の災害対策本部の設置・運営

(2) 実動訓練

項目	主な実施内容																																
■ 住民避難訓練	○ 感染症対策を講じたバス避難等 <table border="1" data-bbox="448 1088 1458 1458"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>町村名</th> <th>避難者数 (屋内退避者数)</th> <th>避難方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PAZ</td> <td>泊村</td> <td>15 (0)</td> <td>バス2台、普通車両4台</td> </tr> <tr> <td>共和町</td> <td>30 (0)</td> <td>バス2台、福祉車両1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">UPZ</td> <td>岩内町</td> <td>76 (396)</td> <td>バス4台</td> </tr> <tr> <td>寿都町</td> <td>55 (320)</td> <td>バス5台、福祉車両1台、船舶1隻</td> </tr> <tr> <td>蘭越町</td> <td>24 (0)</td> <td>バス1台、ヘリ1台、高機動車2台</td> </tr> <tr> <td>ニセコ町</td> <td>27 (250)</td> <td>バス2台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>46 (1,932)</td> <td>バス3台、船舶1隻</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>273 (2,898)</td> <td>バス19台、福祉車両2台、普通車両4台、船舶2隻、ヘリ1台、高機動車2台、</td> </tr> </tbody> </table>	区分	町村名	避難者数 (屋内退避者数)	避難方法	PAZ	泊村	15 (0)	バス2台、普通車両4台	共和町	30 (0)	バス2台、福祉車両1台	UPZ	岩内町	76 (396)	バス4台	寿都町	55 (320)	バス5台、福祉車両1台、船舶1隻	蘭越町	24 (0)	バス1台、ヘリ1台、高機動車2台	ニセコ町	27 (250)	バス2台		その他	46 (1,932)	バス3台、船舶1隻	合計		273 (2,898)	バス19台、福祉車両2台、普通車両4台、船舶2隻、ヘリ1台、高機動車2台、
区分	町村名	避難者数 (屋内退避者数)	避難方法																														
PAZ	泊村	15 (0)	バス2台、普通車両4台																														
	共和町	30 (0)	バス2台、福祉車両1台																														
UPZ	岩内町	76 (396)	バス4台																														
	寿都町	55 (320)	バス5台、福祉車両1台、船舶1隻																														
	蘭越町	24 (0)	バス1台、ヘリ1台、高機動車2台																														
	ニセコ町	27 (250)	バス2台																														
	その他	46 (1,932)	バス3台、船舶1隻																														
合計		273 (2,898)	バス19台、福祉車両2台、普通車両4台、船舶2隻、ヘリ1台、高機動車2台、																														
地震に伴う避難所の開設・運営	○ 感染症対策を講じた避難所の開設・運営（岩内町） ○ 外国人への多言語による情報伝達																																
孤立地域等を想定した避難	○ 実動機関による孤立地域からの住民の救出救助（ヘリ：蘭越町、巡視船：寿都町）																																
要配慮者避難等	○ 社会福祉施設などの避難（4施設52人） ○ 在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避（共和町）																																
住民広報	○ コミュニティFM、HP、Twitterによる多言語での住民広報																																
民間事業者の安全確保	○ 専用アプリを活用した車両動態管理及び情報伝達 ○ 車両中継ポイントでのバス運転手への防護対策（倶知安町）																																
道路渋滞対策	○ 渋滞予測箇所における交通誘導等（共和町、倶知安町）																																
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染（倶知安町、寿都町） ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布																																
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ 重点区域内におけるモニタリング活動																																

6. 今後の対応

訓練に参加した住民の方々に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等を通じて課題等を整理し、訓練報告書を取りまとめるとともに、今後の訓練や防災対策に反映していく。